

## 「近畿圏の目指す姿」を実現するための「戦略」(案)

### (概要)

- 1. 歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み育む圏域**
  - (1) 近畿圏にしかない本物を保全
  - (2) 新たな本物(ブランド)の創造・育成
  - (3) 本物を味わってもらう
  
- 2. 首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核**
  - (1) 首都圏ともにわが国を支える経済等の集積の維持・強化
  - (2) 多様な価値観を有する多様な主体の競争と協調
  - (3) 隣接する圏域等との連携
  - (4) 近畿圏自らによる情報の発信
  
- 3. アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点**
  - (1) アジアをリードする最先端産業のコアとなる技術を担う
  - (2) アジアと関西を結ぶシームレスな物流ネットワークの構築
  - (3) 世界の人が集う交流の場
  
- 4. 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域**
  - (1) 地球温暖化防止への先導的取組
  - (2) 豊かな水循環系・生態系の維持
  - (3) 現代の技術による循環型社会の再構築
  - (4) さらなる環境技術の高度化
  
- 5. 都市と自然の魅力を日常的に享受できる圏域**
  - (1) 広域的な都市機能の配置
  - (2) それぞれの都市・地域の魅力向上
  - (3) 都市と自然の交流促進
  
- 6. 人々が自律して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域**
  - (1) どの地域でも医療サービスが受けられる体制の整備
  - (2) 失われつつある地域コミュニティの再生
  - (3) バリアのない社会空間の形成
  
- 7. 産業・暮らしを支える災害に強い安心・安全圏域**
  - (1) 様々な自然災害等に対する圏域の強化
  - (2) 防災分野におけるアジア・太平洋地域への貢献

## 「近畿圏の目指す姿」を実現するための「戦略」

### 1. 歴史・文化に誇りとこだわりを持って本物を産み育む圏域

- 古くから都が置かれ、自然や地勢とあいまって、長い年月をかけて多様な文化を創造・継承・蓄積してきた日本文化(日本のアイデンティティ)の象徴圏域となる。
- 関西に残る多くの歴史・文化資産、景観や多様性と厚みを兼ね備えた細やかな伝統工芸、生活、食、風土などの本物の日本固有の文化を大切に保全し、次代に継承する。
- 質にこだわった細やかなまちづくり、ものづくり、ひとづくりなどにより、技術、意匠、コンテンツ、ライフスタイル、景観などの新たな本物(ブランド)を創造する。
- 関西各地に残る固有の資源(伝統・文化・風景等)を核として、個性あふれる国際競争力の高い観光地域づくりを行い、関西全体として世界に名だたる国際観光圏域となる。

#### (1) 近畿圏にしかない本物を保全

- ①各都市・地域が、歴史遺産や文化財などの歴史・文化資源や、日本の原風景、特色あるまちなみ、伝統技術を、規制強化・緩和、財政的支援などにより保全する。

<考えられる主要な事業・制度>

・  
・

- ②本物を保全する圏域であるという自覚を持つよう、本物について知ってもらう、体験する機会をつくる。

<考えられる主要な事業・制度>

・  
・

#### (2) 新たな本物(ブランド)の創造・育成

- ①産業・暮らし・まちづくり・芸術などにおける地域固有の資源を核にして、これらをパッケージ化し、地域住民が一体となり、質にこだわった地域づくりを行う。

<考えられる主要な事業・制度>

・  
・

- ②本物の創造・育成を支える優秀な人材を確保するために、教育課程において質にこだわった本物のものづくりを体験し、学習する機会を圏域として設けるなど、人材の裾野を広げる。

<考えられる主要な事業・制度>

・  
・

### (3)本物を味わってもらう

- ①国内外の旅行者が近畿圏の多様な本物を享受できるよう、交通ネットワークの充実、観光ルートの情報や地域情報などの提供、宿泊施設の充実などにより、拠点間の回遊性を高める。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

- ②関西の観光情報の発信を関係機関が連携して行うとともに、もてなしの心の充実、国内外の旅行者が必要とするインフラの整備、共通ICカードシステムの導入推進、交通・観光施設におけるユニバーサルデザイン(多言語案内標識充実等)の導入を進めることにより、国内外の旅行者が安心して観光できる環境を実現する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

- ③他圏域(四国圏、中国圏)との連携により、近畿圏の本物を味わってもらう環境づくりを推進する。さらに、関西と他圏域にまたがる海域について魅力ある観光地として形成するための環境づくりを推進する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

## **2. 首都圏とは異なる多様な価値が集積する日本のもう一つの中心核**

- 隣接する圏域とも連携を深めながら、経済、情報、文化等において日本の中心的な役割を果たす圏域を形成する。
- 多様で層の厚い歴史・文化の蓄積とアジアをはじめとする世界との強い絆を強みとして、個性の異なる都市・地域が競争・協調しつつ、多彩な文化、暮らし、産業が息づき、生活の豊かさを実現する、首都圏とは異なる日本のもう一つの中心核となる。
- 非常時には、首都機能のバックアップを担う。

### **(1) 首都圏ともにわが国を支える経済等の集積の維持・強化**

- ①首都圏とは異なる多中心構造のもと、企業の本社機能・学術研究機関等の様々な分野の拠点を誘致し、非常時には各分野でのバックアップを担う。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

### **(2) 多様な価値観を有する多様な主体の競争と協調**

- ①近畿圏に存在する各主体が多様性を維持・強化しつつも、連携を図りながら圏域全体の総合力を発揮するための仕組みを整備する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

### **(3) 隣接する圏域等との連携**

- ①近畿圏に集積した様々な機能や阪神港・関西国際空港等を隣接圏域等からも活用するためのアクセスを改善する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

- ②隣接圏域等に存在する機能も積極的に活用し、集積によるスケールメリットを更に強化する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

#### (4) 近畿圏自らによる情報の発信

- ①各地に豊富に存在する「本物」をはじめとする近畿圏の実力・魅力をコンテンツとして世界に対して直接発信し、知名度を向上させる。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

### 3. アジアをリードする世界に冠たる創造・交流拠点

- 京阪神都市圏が、関西の人・モノ・情報・経済を牽引し、活力の源であるエンジンとなる。
- これからの関西のエンジン産業として、次世代産業やクリエイティブ産業を位置づけ、これにより多様で層の厚いものづくり基盤産業や成長が期待される新産業を牽引する。
- 質の高い人材を育成・創出するとともに、アジアをはじめ世界の優秀な人材が関西を拠点に密度の高い交流を展開することにより、創造性に富んだ人や企業が活発に活動し、他地域にない独創性豊かなイノベーションを創出する圏域となる。

#### (1) アジアをリードする最先端産業のコアとなる技術を担う

- ① アジアをリードする関西の産業がますます発展するため、ハイレベルのモノづくりを行っている最先端企業の技術力、競争力の強化を図る。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

- ② 関西の最先端産業を支えるため、ものづくりの基盤技術を担う中小企業の技術力や企業体力の強化を図る。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

- ③ 将来の関西の産業を支えるため、次世代産業として期待される新技術の創成を促進する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

- ④ 大きな成長が見込まれる映像、音楽、アニメ等のクリエイティブ産業について、アジアを中心とする輸出産業として育成する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

- ⑤ 関西の次世代産業を創出するため、国内からはもとより、アジアをはじめとする海外からも優秀な人材を確保する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

## (2) アジアと関西を結ぶシームレスな物流ネットワークの構築

①我が国の国際物流競争力の強化を図るため、国際航空物流、国際海上物流及び国内の陸上物流等の拠点を整備する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

②シームレスな国際物流ネットワークを構築するため、物流拠点間を結ぶ世界基準に対応する道路ネットワークの構築、及び、アジアをはじめとする世界と関西を結ぶ航空・海上物流ネットワークの拡充を図る。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

③大阪湾をアジアと関西(日本)を中継するゲートウェイとして円滑な運営を実現し、物流コスト・リードタイムを低減するため、神戸港、大阪港、堺泉北港及び尼崎西宮芦屋港の4港湾の一括運用及び諸手続きの簡素化を図る。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

## (3) 世界の人が集う交流の場

①世界各地から人々が集まり、政治・経済・文化・学術などの国際交流を促進するため、アジア地域の情報を収集発信する情報拠点となる。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

②購買力の高いアジアの富裕層が関西に集まる、国際高級ブランド店が集積するショッピングストリートを形成する。

<考えられる主要な事業・制度>

- 
- 

③アジアと関西の企業が交流し、新たなビジネスを創設するビジネスマッチングの場を提供する。

<考えられる主要な事業・制度>

- 
-

## 4. 人と自然が共生する持続可能な世界的環境先進圏域

- 関西に息づく自然との共生を大切にする価値観を継承し、圏域全体で豊かな自然環境の保全・再生に積極的に取り組み、環境先進地域として存在感のある圏域となる。
- 健全な水循環系の構築や、山から海までの一貫した土砂管理など、流域圏を中心とした国土利用を進める社会を構築する。
- 人間活動の結果発生する廃棄物等について、圏域全体で効率的に3R（リデュース・リユース・リサイクル）を進める循環型社会を構築する。
- 太陽電池など高い技術を有する環境関連産業や研究機関の集積を活かし、環境技術やライフスタイル・まちづくり等を提案し、地球環境問題の解決という面で世界に貢献する。

### (1) 地球温暖化防止への先導的取組

- ①各自治体の地球温暖化対策地域推進計画を合わせる形で圏域全体での地球温暖化対策推進計画を策定し、CO2削減目標、及び、それを実現するための施策を設定する。更に、各自治体の地球温暖化防止活動推進センターが連携して同計画の進捗管理を行い、圏域全体でのCO2排出のマネジメントを実施する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

- ②圏域内の庁舎、事業所、店舗等についてエネルギー節約に関する指導を行うとともに、一般住宅についても、CO2排出の少ないライフスタイルを提案する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

- ③低公害車の導入促進、自動車交通の制御による消費燃料の節減、公共交通機関の利便性向上による利用促進、LRTの整備、物流の効率化等により、CO2排出の少ない交通体系を推進する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

- ④太陽光・風力・バイオマス等新エネルギー導入の推進、天然ガス・LPガスシフトの推進等によりエネルギー起源のCO2を削減するとともに、CO2吸収源である森林の整備、保全を行う。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

## (2) 豊かな水循環系・生態系の維持

- ①琵琶湖・淀川流域圏、大阪湾等を先導的地域とし、山林管理者、農業者、河川管理者、都市開発者、港湾管理者など当該地域の水循環に関わる者が一体となって、適切な水の循環、水質保全、付随する生態系の再生に取り組む。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

- ②市民参加型の水と緑のネットワーク形成に向けた運動を支援する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

## (3) 現代の技術による循環型社会の再構築

- ①循環型社会を構築するため、製品長寿命化等による廃棄物のリデュース、各種再資源化施設の整備によるリサイクル、廃棄物のリユースなど、3Rを推進する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

- ②近畿圏における長期的な廃棄物の適正な処理を図るため、廃棄物の減容化促進による現広域処理場の延命化及び次期広域処理場の計画を総合的に推進する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

## (4) さらなる環境技術の高度化

- ①近畿圏に集積する大学・産業界の環境・新エネルギー技術、ものづくり技術を生かし、環境技術に関する研究開発への支援、実証実験場所の提供、公共事業における技術の採用等により、太陽電池、燃料電池、バイオエタノール等の先端な環境・新エネルギー技術の高度化を進める。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

## 5. 都市と自然を日常的に享受できる圏域

- 自然に近接して個性ある都市が発達した関西の特長を活かし、どこに住んでも自然的魅力と都市的魅力の双方を同時に享受でき、多様なライフスタイルを提供できる圏域となる。
- 大都市部は、それぞれの都市が持つ個性を生かしながら、国際ビジネス機能や生活サービス機能等において、圏域を代表するような高度な都市機能を発揮させ、圏域の発展に積極的に貢献し、中心的役割を担う。
- 地方都市部は、中心市街地への都市機能の集約や周辺の地域を結ぶ公共交通ネットワークの確保などにより、暮らしやすさや都市の持続的発展等を確保する。
- 農山漁村は、都市との地域間交流の促進や地域密着型産業等により、持続可能な地域社会を構築し、その多面的機能を発揮する。

### (1) 都市機能の広域的な配置

- ①市街地の整備(産業、居住空間の配置など)、緑地の保全、研究開発拠点などについて、圏域内の効率的な都市機能の配置の検討を行う。

<考えられる主要な事業・制度>

・  
・

### (2) それぞれの都市・地域の魅力向上

- ①都市部において、中心市街地の活性化、都市内における「農」の確保、人口減少下での郊外部の土地利用の転換・修復、ニュータウンの再生などにより、活力や潤い・安らぎのある生活を確保する。

<考えられる主要な事業・制度>

・  
・

- ②農山漁村において、都市型農業の展開や企業の農業参入、各地域の地産地消の推進や地域食材を活用した新たな食品の創出などの農業の構造改革を行うとともに、生活基盤の確保を図り、農山漁村の活力を高める。

<考えられる主要な事業・制度>

・  
・

### (3) 都市と自然の交流促進

①二地域居住を初めとする多様な形での人の移動等を支える道路・鉄道など、都市と農山漁村との情報通信・交通ネットワークの整備を行い、近畿圏のどこからでも京阪神の主要都市まで円滑に移動できる交通環境を整備する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

②都市・農山漁村の交流メニューの提供や多様なライフスタイルを可能とする仕組の整備、移住促進策の実施、都市と農山漁村の移動マップの提示などにより、多様なライフスタイルの実践の一助となるような普及・啓発を行う。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

## 6. 人々が自律して快適で豊かに暮らせる高福祉圏域

- 関西の全ての生活圏域で、医療・福祉・教育・防犯・消防・買い物・娯楽等の都市機能が確保され、地域コミュニティのある安心して暮らせる圏域を形成する。
- 多くの人々が集まる公共的な空間を中心に、ユニバーサルデザインの理念に基づき、高齢者、障害者など多様な人々が自由に社会に参画し、いきいきと暮らせる空間を形成する。
- 関西の全ての地域で、子育てに夢が持てる地域社会を形成する。

### (1) どこにいても各種生活サービスを享受できる体制の整備

①地域の足を確保し、交通弱者をなくす。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

②日常的な各種生活サービスを受けられる体制を整備し、サービス過疎地をなくす。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

③どの地域に住んでいても、高度医療や緊急医療を円滑に受けられる体制を構築する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

### (2) 失われつつある地域コミュニティの再生

①小学校の空き教室や空き時間帯等を活用し、生涯学習や祭りなどの地域活動の場として開放する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

②女性が出産後に社会復帰しやすくするように、交通利便性の良い中心市街地や交通結節点に、商店街の空き店舗等を活用して、保育機能を整備する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・
- ③「地域の目」のもとで家の外で子供を安心して遊ばせられるように、集会所・消防分団・高齢者施設等と公園等を一体的に整備する。  
＜考えられる主要な事業・制度＞

### (3) バリアのない社会空間の形成

- ①今後10年間でバリアフリー化を行う圏域共通の条件を定め、その条件に適合するエリアにおいて、集中的に移動空間および建築物内のバリアフリー化を進める。  
＜考えられる主要な事業・制度＞

- ②「移動経路」「交通手段」「目的地」などの情報を、外国人や高齢者、障害者などを含むすべての人が利用できる環境を整備する。  
＜考えられる主要な事業・制度＞

## 7. 産業・暮らしを支える災害に強い安心・安全圏域

- 関西全域が、東南海・南海地震や直下型などの地震、さらに台風、高潮、豪雨・豪雪等の自然災害に対して強く、安心して生活し、働ける圏域となる。
- 防災・減災分野における研究・教育と実務を兼ね備えた、国内およびアジア・太平洋地域に貢献する国際防災拠点を形成する。

### (1) 様々な自然災害等に対する圏域の強化

- ①東南海・南海地震の発生を想定した防災・災害対策を行い、平常時から災害に対して強い圏域づくりを進める。  
＜考えられる主要な事業・制度＞
  - ・
  - ・
- ②個人レベル・地域レベルでの危機管理意識を向上させる。  
＜考えられる主要な事業・制度＞
  - ・
  - ・
- ③多様な主体が相互協力し、迅速に対応できる体制を確保する。  
＜考えられる主要な事業・制度＞
  - ・
  - ・
- ④大災害発生時に、救援・復旧等の災害対策活動を圏域全体で迅速に展開するための基幹的広域防災拠点を整備し、交通・情報通信基盤により府県の広域防災拠点とのネットワークを構成する。  
＜考えられる主要な事業・制度＞
  - ・
  - ・
- ⑤近畿圏の全ての人に、災害時に必要な情報が正確に伝わる体制を構築する。  
＜考えられる主要な事業・制度＞
  - ・
  - ・

### (2) 防災分野におけるアジア・太平洋地域への貢献

①関西に多数立地する防災関連の研究機関を活用し、アジア・太平洋地域での地震、台風、洪水、地滑りなどのすべての災害情報を一元化するシステムを構築するとともに、集積した情報をアジア・太平洋地域に向けて発信する。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・

②防災に関する各種研究機関、教育機関、研究者の集積をさらに進める。

<考えられる主要な事業・制度>

- ・
- ・